

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第19回 HWC標準作業会 議事録

1. 日 時 : 平成25年5月16日(木) 14:00~16:00
2. 場 所 : 日本原子力発電(株) 本店 2階 第4会議室
3. 出席者 : (敬称略)  
(委員) 内田、高木、和田、小野、太田<sub>外</sub>、久宗、寺門  
(常時参加者) 北島、山本、鈴木、上山
4. 配布資料 :
  - 19-1 第18回 HWC標準作業会 議事録(案)
  - 19-2 沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の定量評価に関する基本手順(案)(HWC標準原案)
  - 19-3 HWC標準案へのコメント対応表
5. 議事概要 :

前回作業会での議論を踏まえて修正したHWC標準原案の内容について、検討を行った。

  - (1) 出席者の確認  
出席者の確認を行い、委員8名中7名出席しており、必要な定足数を満足していることを確認した。
  - (2) 前回議事録確認  
久宗幹事より、資料19-1「第18回 HWC標準作業会 議事録(案)」の説明があり、承認された。
  - (3) 標準原案の検討  
北島氏より、資料19-2に基づいて標準原案の修正箇所の説明があった。また、今後修正すべき箇所について各メンバーより指摘があった。
    - ① 標準のタイトルについて、“水素注入(HWC)”という文言を加えるかどうか今後検討することとした。
    - ② 2010年に常用漢字が改訂され“亀裂”という文字が使用できるようになったが、“き裂”という文字を使用している他規格を引用するケースを想定して、本標準では“き裂”を適用することとした。
    - ③ 図表番号を更新するため、図表の元データを修正して挿入し直すこととした。
    - ④ 表式に用いられる量記号はJIS規定に基づいて修正することとした。また、同じ物理量を表す量記号は統一することとした(例えば腐食電位を表す量記号として用いられている $\phi$ ,  $\Phi$ ,  $\phi$ をいずれかに統一)。
    - ⑤ 物理量の単位は国際単位系を使用し、数値も単位に合わせて換算することとした(例えばg値については $\text{eV}^{-1}$ ではなく $\text{mol/J}$ を使用し、表B.1の数値は $\text{mol/J}$ に換算)。
    - ⑥ 数値の掛け算は“×”を用いて表すこととした(例えば表B.3中の数値では、“2.90E+02”ではなく“ $2.90 \times 10^2$ ”と修正)。
    - ⑦ 丸数字(①, ②, …)は使用しない(例えばB.2で使用されている①, ②, …は1), 2), …等に修正)。
    - ⑧ 「B.2 a) 諸定数」に記載されるプラントパラメータについては、参考

文献を確認し、公開されているデータを掲載することとした。

- ⑨ 解説のページ番号は標準作成方法に則った方法で付番し直すこととした。
- ⑩ 参考文献から引用するデータの著作権の確認方法について、今後検討することとした。
- ⑪ 解説の参考文献には、重複するものが含まれているため、記載方法を見直すこととした。

(4) 今後の進め方

- ① 北島氏より、標準原案の Word ファイルを作業会メンバーにメール送付することとした。また、標準原案に使用されている図表の元データ (Power Point ファイル) を内田先生から上山氏に送付し、上山氏より作業会メンバーにメール送付することとした。
- ② 北島氏より送付された標準原案に対して、下記分担で5月24日までにレビューを実施し、北島氏にレビュー結果をメールで連絡することとした。他のメンバーも全体を一読し、コメント等があれば北島氏まで送付することとした。
  - ・本文：高木副主査
  - ・附属書：和田委員
  - ・解説：山本氏
- ③ 北島氏は上記②のレビュー結果・コメントを取り纏め、標準原案の修正版を作成することとした。分科会（5月30日開催予定）には、この修正した原案を諮ることとする。
- ④ 内田主査は、分科会で使用する説明用の Power Point 資料を作成することとした。当日の説明は久宗幹事が実施する。

(5) その他

次回（第20回HWC標準作業会）開催日は、分科会後に別途調整することとした。

以上